

## 山野議員

### Q 町水道に新幹線の湧水を利用しては



▲海田町の側溝に今も湧き出ている水

A 現時点でも飲料水の利用は困難であると考えている（中川水道課長）

A 湧水量は、1日当たり約4千500m<sup>3</sup>を計測（今年5月調査）。利用については、昭和48年に国鉄広島新幹線工事事務所と諸条件下での湧水利用の了承はいただいている。  
また、平成9年の水質検査の結果は、大腸菌群とフッ素値が基準値を超えていた。大腸菌群は比較的に除去できるが、フッ素は非常に難しく、相当な費用により処理施設を建設する必要があるため、現時点でも飲料水の利用は困難であると考えている。

Q 少しでも水道料金を下げられるため、新幹線トンネル湧水の利用について以前質問したが、水質により無理との回答があった。湧水の水量はどれくらいか。水利権はどうか。また、水質検査はいつ行ったか。飲み水での利用は、現在でも無理なのか。

## 藤本議員

### Q 町民の安全について（私道の取り扱い）



A 編入基準に基づき基準を満たすもののみ適正な手続の上、町道に編入する（森本建設次長）

Q 補修の必要な私道が見受けられるが、町道に組み入れるべきと考えるか。

A 私道を町道に編入する場合、町道編入基準に基づき審査を行い、基準を満たすもののみ適正な手続の上、町道に編入する。不特定多数の方が利用する道路は、道路敷地の所有権移転が可能で、必要書類の作成等、関係住民の方々の協力が得られるものは、町管理とすることも前向きに検討できる。

Q 他市町で補修に関する助成金制度が見受けられるが、熊野町はどうか。

A 予算の問題等もあるため、今後財政当局と協議をしながら調査、研究をしていきたい。

## 教育部門



沖田議員

### Q 中学校の保健体育で武道が必修科目に

A 指導者と生徒の事故防止に対する意識を高めて授業を進めている（林教育長）

A 武道場は、昨年度照明器具の点検を行い、環境の改善を行った。指導者に関しては、体育担当教員を実技技能講習会に参加させ、安全の確保等について研修を重ねている。また、集団行動における指導者と生徒の事故防止に対する意識を高めて授業を進めている。  
教育用指導事例集に関しては、平成19年3月に文部科学省から改訂版が刊行、県教育委員会からは平成22年3月に作成され、配布している。

Q 昨年の議会で、両中学校が柔道を考えていると答弁があった。武道場の安全対策などは。また、指導者への指導強化や、専門外の教員のための指導事例集は配布されたか。



山野議員

### Q イノシシの被害が住宅地にせまる



A 箱ワナを追加購入し貸し出すようにしたい（石井都市整備課長）

Q 神田地区や川角地区でイノシシの出現が見受けられた。住宅地が近く、通学路もそばにある。町に保有の箱ワナは何基あるか。また、すぐに設置してもらうことは可能か。

A 近年、イノシシが人家の庭先や畑等を荒らしているため、鳥獣被害対策協議会を関係者で結成し、対策を協議していきたい。また、駆除を行うための箱ワナが、10年ほど前に購入した3個と足りないことから県の補助により10個程度追加購入し、有害鳥獣駆除班へ貸し出すように考えている。さらに、従来は電気柵等の設置に対して補助金を交付していたが、新たにワイヤーメッシュといわれる柵の設置に対しても補助金を交付する。